

齊藤牧場 齊藤 和弘



所在地

○北海道阿寒郡鶴居村

経営概況

○飼養頭数：ホルスタイン種 220 頭（成牛 140 頭、未経産 80 頭）

和牛 20 頭

○飼料面積：草地 100ha、デントコーン 16ha

○出荷乳量：年間 1,200 トン（H26.1～H26.12 実績）

○経営形態：家族経営（従業員 3 名）



プロフィール（略歴）

平成 9 年 4 月 北海道文理科短期大学（酪農学園大学短期大学部）卒業

同 年 就農

平成 21 年 3 月 JA くしろ丹頂青年部 部長就任

平成 23 年 4 月 JA 釧路地区青年部協議会 会長就任

平成 24 年 4 月 JA 北海道青年部協議会 副会長就任

平成 26 年 4 月 JA 北海道青年部協議会 会長就任



【収益拡大の取り組み】

- ◇乳牛では、輸入飼料の高騰などから高栄養飼料(デントコーン)の生産や、草地改良などで高品質で高収量な牧草生産に力を入れている。
- ◇近年、和牛素牛(10ヶ月齢程度までの肥育牛)の価格が高騰しているため、和牛素牛生産の拡大に取り組んでいる。

【解決すべき課題】

- ◇流通飼料の高騰
- ◇労働力の確保
- ◇地域における担い手問題等

【JAグループとの連携】

《事業監査および量販店・乳業との意見交換》

平成24年度および25年度には、生産者からの拠出金をもとにJAグループにて実施している「第8期生乳安定生産対策拠出事業」の監査委員として、他の農協組合長とともに当事業の監査を実施した。

その中で、実際に都府県量販店で実施している催事の視察や量販店バイヤーおよび乳業メーカーとの意見交換を実施し、販売者側の状況を理解するとともに、生産者側の現状や現場の取り組みに対する理解を求める活動を行った。

《消費者との交流》

上記拠出事業の一環である「牛乳・乳製品需要拡大事業」の中で、都府県量販店での大型催事に際して、消費者との直接的な交流を通して、北海道産牛乳・乳製品の魅力や北海道酪農に対する理解醸成活動を行った。

また、生産者から消費者へのメッセージビデオの制作にも協力し、量販店に設置したモニターにて、飼料価格高騰等を背景とした北海道酪農の現状を知ってもらう取り組みを行った。

